

議員各位

## ホテルを利用した軽症・無症状者受け入れについて

### <基本的な考え>

新型コロナウイルスについて、陽性患者が増加を続けている。船橋市でも27日時点で陽性と確認された人の累計は110人となっており、特に4月に入ってからは一気に104人急増している。

このような中、既に退院された方もいる一方、市内医療機関で入院中の方は53人おり、このうち軽症者は45人となっている。また、陽性となっても自宅待機となっている人は44人で、県が一定量の病床を確保して入院可能な病床があるとしているが、実態はそうした状況にならない。

今確保しなければならないことは、陽性となった人、今後罹患する人の命を守る体制をつくることであり、そのためには、症状に応じて確実に医療に関わることができるシステムを構築する必要がある。

ホテルを利用した軽症・無症状者の受け入れは、こうした対応のために不可欠であり、医療体制の崩壊を防ぎ、重症化した人を確実に受け入れる体制の基盤となるものである。

今後は、陽性が確認され家で待機している軽症・無症状の方、病院に入院している軽症・無症状の方のうち、ホテルの療養で対応できる方についてはホテルへの移動をお願いし、軽症、中等症、重症それぞれが適切に症状にあった医療を受けられる体制を目指す。

### <船橋市医師会と船橋市のこれまでの取り組み>

船橋市医師会と船橋市は、多年にわたって地域医療構築のために連携を続け、平成5年4月(1993年)に、全国で初の「24時間体制で出勤時から医師が同乗するドクターカーシステム」を実現したほか様々な取り組みを実施してきた。

平成21年(2009年)に、関東で初めて船橋市の中学校で新型インフルエンザが集団発生した際も、医師会と市が連携のもとで発熱外来を設置して対応したが、以降、医師会が「新興再興感染症等対策委員会」を設置し、市保健所職員もこの委員会に参加して病院における感染症対応の訓練のあり方や新たな感染症対策などについて協議を行っている。

現在、新型インフルエンザ等に的確に対応するため、毎年市内の病院持ち回りで行われている実働訓練はこうした中で実現したものの。

こうした連携の下で、市としてマスク、ゴーグル、防護服等、感染症に関する資材を独自に備蓄してきたことは、北総育成園での集団発生時の迅速な必要物資提供や、地域のクリニックを含めた各医療機関へのマスク等の継続的提供による地域医療維持のために大きな役割を果たすことにつながっている。

## ＜共通認識＞

今回新型コロナウイルスへの対応の上で、ホテルを利用した軽症者の受け入れについては、船橋市医師会と市で次の2点について共通認識を持ち準備を進めた。

### ○自宅療養は感染拡大防止のために避けなければならない

- ◇ 国では、軽症・無症状者についてはホテル等の宿泊施設の利用だけでなく、自宅療養を選択肢の一つとしてきたが、船橋市医師会と市は当初から自宅療養については問題意識を持ってきた。
- ◇ これは、同居家族の感染リスクを増大することにつながり、さらに感染を拡大する要因になり得るため、家族とは異なる場所で医療の対応を受けるべきである。
- ◇ また、急性増悪きゅうせいぞうあくのリスクがあるため、医療従事者が見守りできる環境をつくるべきである。

### ○医療崩壊を防ぎ、重症化する陽性者を確実に医療につなげて命を守る

- ◇ 現在、船橋市では主に市立医療センターと二次救急医療機関の計7病院で新型コロナウイルス陽性者の受け入れを続けているが、実質的に入院先が確保されず自宅待機の人が増え続けている。
- ◇ 軽症者の入院がすでに多くあるため、重症者の病院での確実な治療が行えなくなる懸念が大きなものとなっており、医療崩壊を確実に防ぐためにも、症状に応じて必要な医療の提供が行われる仕組みをつくらなければならない。
- ◇ ドライブスルー方式を含めたPCR検査の積極的な実施の前提となるのは、軽症者についても確実に症状に応じた医療をつなげられる体制が構築されている必要がある。

## ホテルでの軽症・無症状者受け入れの概要

- 受入れ開始期日 令和2年4月30日(木)から
- 受入れ場所 船橋第一ホテル(船橋市湊町2-5-18) 11階建て
- 受入れ可能人数 約100人(全客室数128室の内、ゾーンを決めて使用)  
※ ゾーニングについては、船橋市医師会、自衛隊医務官の指導を受け実施済み
- 受入れ対象者
- ・病院での治療が不可欠でない入院中または自宅待機の軽症者
  - ・PCR検査で陽性と確認された人の内、医師が入院治療の対象とならない症状と判断した軽症者
- 受入れ態勢
- ・医師(24時間オンコール)
  - ・看護師または保健師(24時間常駐)  
(日中:市保健師1名、夜間:派遣看護師1名)
  - ・市職員9名(ローテーションで24時間常駐)
- ※ 部屋の大きさ 主にシングル 12平方メートル

### 【運用上の基本事項】

- 一日2回体温などを計測していただき、日中に駐在する保健師が各室に電話で健康状態を確認します。
  - パルスオキシメーターを活用し、日々の血中酸素飽和度の測定を行います。
- ⇒ 患者の体調が急変した場合、オンコールの医師へ電話で連絡して指示を受け、病院に搬送して対応します。
- 患者が入居した後、PCR検査で2回連続陰性後に退去。
  - 掃除や洗濯は自分で行います。
  - 患者のゴミ、リネン等の処理は、専門業者へ依頼します。
  - 面会は二次感染防止のためできません。
  - 宿泊費や食事(お弁当代)に係る経費について、個人負担はありません。  
(個人の嗜好で消費する飲み物等は自己負担)
- ※ この他、基本的に日々の運用については、国が定めた「新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養マニュアル」を準用します

《問い合わせ先》 船橋市新型コロナウイルス感染症対策 保健所本部  
電話 409-1898